

Bonny

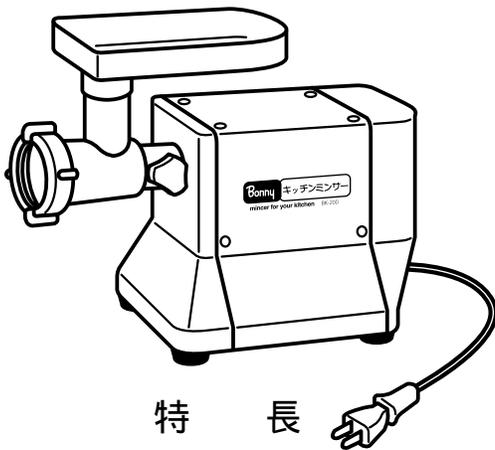
キッチンミンサー BK-200 取扱説明書

このたびはボニーキッチンミンサーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

この商品を正しくお使いいただくために使用する前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、充分理解した上でご使用くださいますようお願いいたします。

お読みになった後は必ず保管してください。

10ページに添付している保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ日」等の記入をお確かめになり、大切に保存してください。



特 長

- 1 大きなパワーで大量処理
- 2 音が静かなサイレントタイプ
- 3 場所を選ばない省スペース設計
- 4 トレーに抗菌プラスチックを採用
- 5 切れ味・耐久性抜群のナイフ・プレート

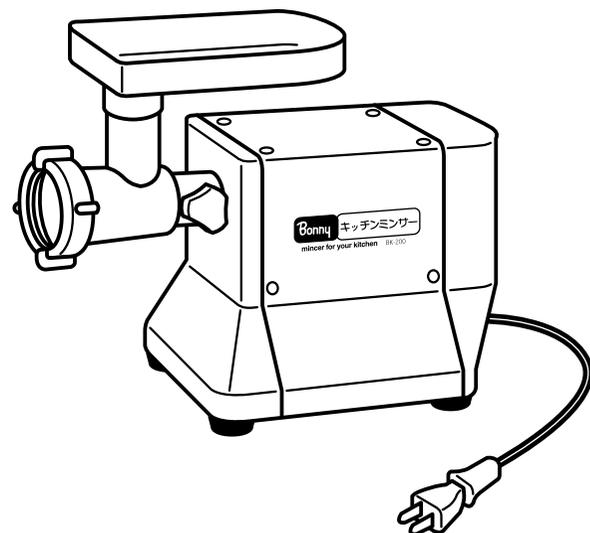
もくじ

安全上のご注意.....	1 ~ 4
各部のなまえ.....	5
仕様.....	5
上手にお使いいただくために.....	6
お使いになる前に.....	6
セットのしかた.....	7
正しい使い方.....	8
お手入れのしかた.....	8
みそのつくりかた.....	9
保証書.....	10
アフターサービス.....	10



安全上のご注意

この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。



ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が想定される内容を示します。

* 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例



感電注意

は、注意（警告を含む）を示します。
具体的な注意内容は、 の中や近くに絵や文章で示します。
左図の場合は「感電注意」を示します。



分解禁止

⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。
具体的な禁止内容は、 ⊘の中や近くに絵や文章で示します。
左図の場合は「分解禁止」を示します。

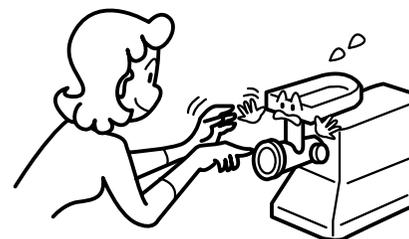


プラグを抜く

は、強制（必ずすること）を示します。
具体的な強制内容は、 の中や近くに絵や文章で示します。
左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜くこと」を示します。

警告

修理技術者以外は、絶対に分解したり修理は行わないこと
発火したり、異常動作してけがをすることがあります。



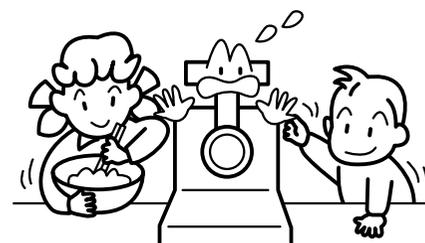
分解禁止

水につけたり、水をかけたりしないこと
ショート・感電の恐れがあります。



禁止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないこと
やけど・感電・けがをする恐れがあります。



禁止

運転中は本体やプレートの中には指を入れないこと
けがをする恐れがあります。

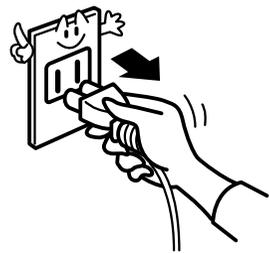


接触禁止

注意

電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜くこと

感電やショートして発火することがあります。



プラグを持って抜く



コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないこと

感電・ショート・発火の原因になります。



使用禁止

コードを傷付けたり、破損したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、また重い物をのせたり、挟み込んだり、加工したりしないこと

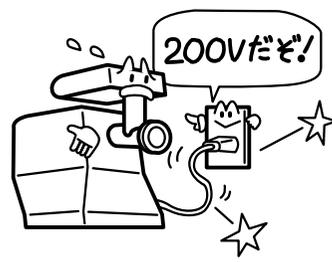
コードが破損し、火災・感電の原因となります。



禁止

交流100V以外では使用しないこと

火災・感電の原因となります。



100V以外禁止

不安定なところでは使用しないこと

けがの原因となります。



禁止

運転中に移動させないこと

けがの原因となります。

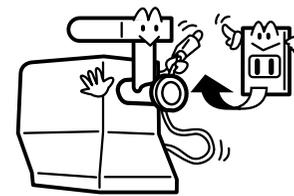


禁止

注意

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜くこと

けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。

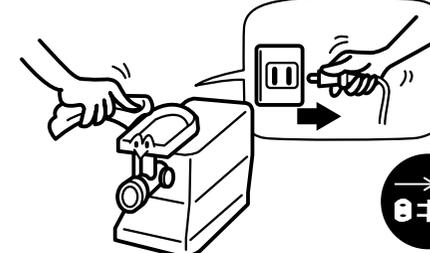


プラグを抜く



部品の取付け、取外し及びお手入れするときは、スイッチを切り電源プラグを抜くこと

けがをする恐れがあります。



プラグを抜く



食物をひく以外に使用しないこと

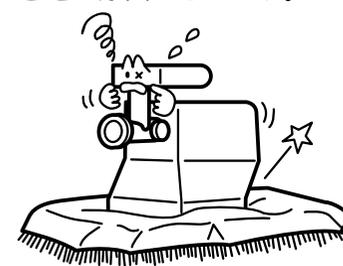
ナイフ・プレートの破損や故障の原因となります。



禁止

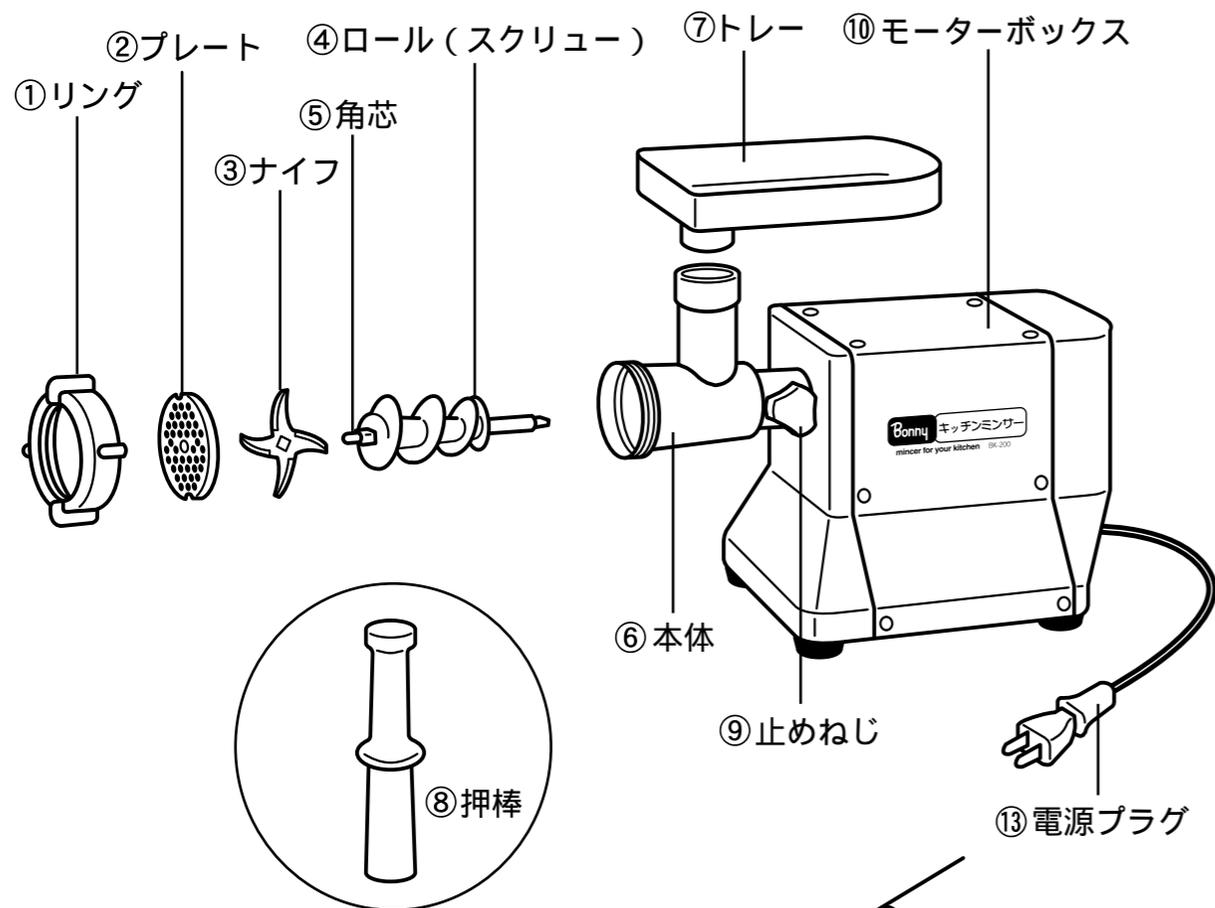
モーターボックスは平らなテーブルの上に置き、また後側と底部の空気穴をふさがないようにすること

火災・感電の原因となります。

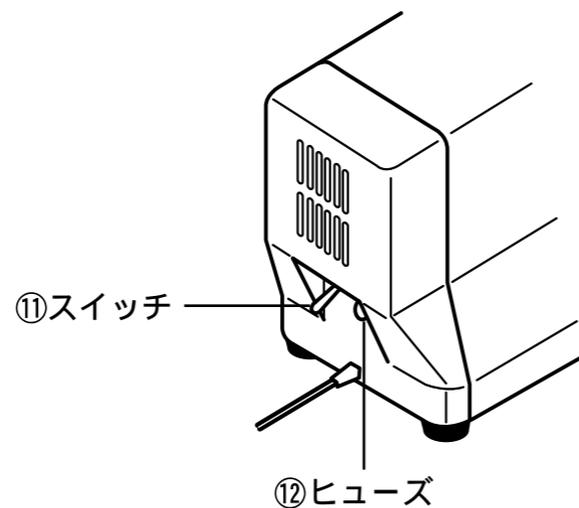
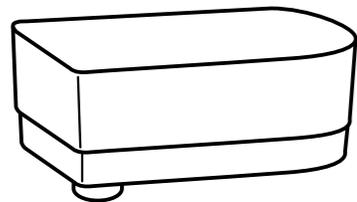


禁止

各部のなまえ



専用豆ホッパー
(別売品)



仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

仕様

形番	BK-200	定格出力	200W (定格消費電力 400W)
外形寸法	幅170×奥行394×高さ310mm	定格時間	20分
重量	7kg	処理能力	肉・魚20~30kg/20分、みそ豆40kg/20分
投入口の径	45φ	付属品	押棒
出口の径	65φ	オプションパーツ	専用豆ホッパー、ウイナーメーカー、各種プレート

上手にお使いいただくために

お取り扱いにあたっての注意事項

- 1 モーターボックスは平らなテーブルの上に置き、後側と底部の空気穴をふさがないようにしてください。
- 2 電源プラグを接続する時には、必ずスイッチが「OFF」になっているかどうか確認してください。
- 3 もし固いものが入り、ロール(スクリュウ)が止まってしまった時は、すぐスイッチを切ってください。
- 4 モーターボックスは絶対に水につけたり、水をかけないでください。
- 5 モーターボックスを清掃される時は、うすい洗剤液をしばった布でふいてください。
- 6 本体部を組み立てたり、分解したりする時は、必ず電源プラグをコンセントより外しておこなってください。
- 7 食物をひく以外にご使用にならないでください。ナイフやプレートを破損させる恐れがあります。
- 8 絶対に本体の投入口や、プレートの穴に指を入れないでください。特にお子様にはご注意ください。
- 9 シンナーやベンジン・アルコール等をご使用にならないでください。
- 10 保管時は、湿度の高いところをさけてください。

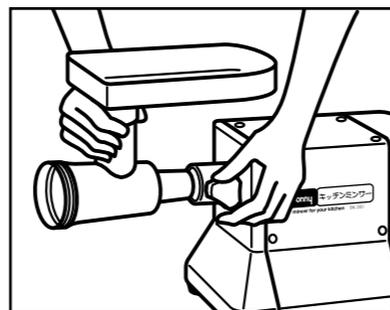
お使いになる前に

- 1 プレート・ナイフ・ロールを取り出す
まずリングを回して、プレート・ナイフ・ロール(スクリュウ)を取り出してください。
- 2 洗剤液で洗う
次に、本体、トレイと各部品を温かい洗剤液でよく洗い、付着している防錆油を洗い流してください。

セットのしかた

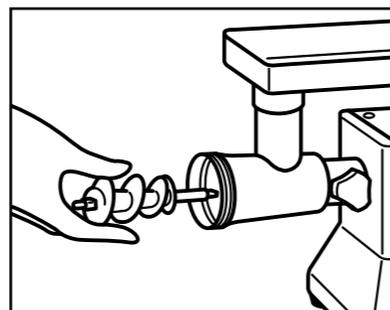
1 本体をモーターボックスに取り付ける

まずモーターボックスの側部についている止めねじをゆるめます。次に、本体を図のようにモーターボックスの奥まで差し込みます。止めねじを時計方向に回してがたつきがないようにしっかり取り付けてください。



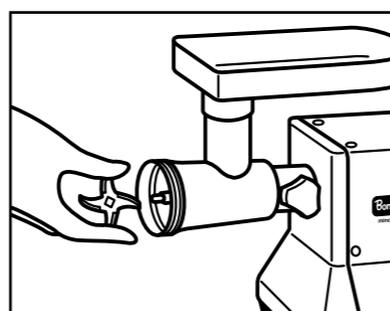
2 ロールを差し込む

ロール（スクリュー）を軸の長い方から差し込み、合う位置に回してください。



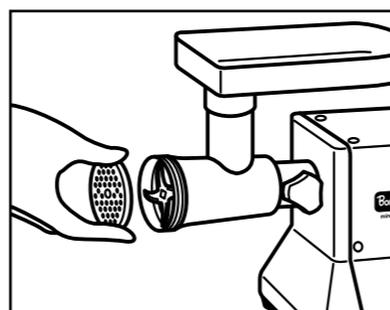
3 ナイフを取り付ける

ナイフをロール（スクリュー）の先端についている角芯の角部に合わせてください。



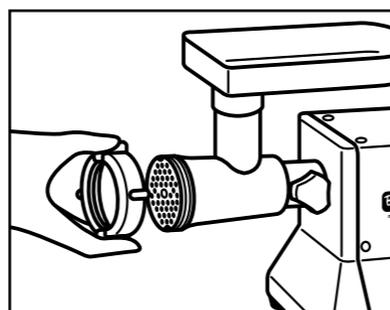
4 プレートを取り付ける

ナイフの次にプレートのみぞ（切り欠部）を本体の回り止めに合わせてセットします。



5 リングを締める

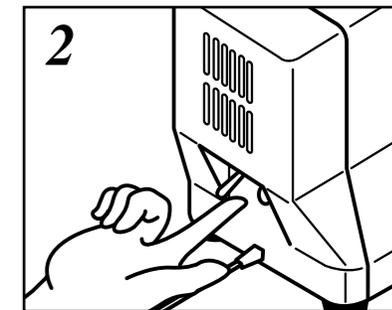
最後に、リングを軽く締めてください。



正しい使い方

1 コンセントを差し込む

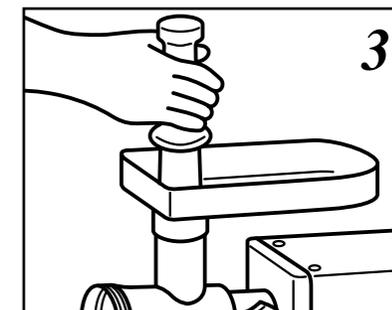
電源プラグをコンセント（交流100V）に差し込みます。



2 スイッチを「ON」にする

3 材料をトレイに入れる

材料を上部のトレイに入れます。ほとんどの材料は、自動的にひくことができますが、押し込む場合は付属の押棒をお使いください。さらに細かくしたい時は一度ひいたものを再度投入してください。（2度びき）



POINT

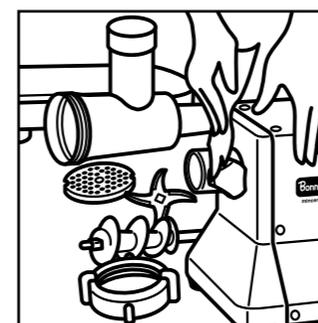
このキッチンミンサー（BK-200）は、肉ばかりでなく、魚肉やゆでたジャガイモ、豆等いろいろな食物をひくことができます。かたい豆や穀物はひくことができません。

お手入れのしかた

お手入れは必ずスイッチを「OFF」にし、コンセントから電源プラグを抜いておこなってください。

1 ご使用後は、各部品を分解し、ぬるま湯の洗剤液で洗ってください。

2 洗った後は、かわいた布でよくふいてかわかし、少量のサラダ油をナイフ・プレート及びロール（スクリュー）の先端の角芯部分に塗ってください。金属のさびの発生をおさえることができます。



みそのつくりかた

ご家庭で手作りのみそを

市販のみそは防腐剤の使用こそ減ってきていますが、発酵による風袋の膨張を防ぐために、加熱処理やアルコールの添加によって酸素による大豆の分解力を止めることが行われています。ところが、みその本当の値打ちは大豆の良質なたんぱく質に加えて、こうじの働きで大豆が発酵する過程で増殖する酵素や微生物が、体内で新しい栄養成分を生産したり有害菌の増殖を押さえて免疫機能を高めることにあります。この生菌効果は微生物が生きたまま入っている「生きているみそ」を食べないことには得られません。一度手作りのみそをためしてみてください。

作り方

大豆は前日からよく洗って水につけておく。約3倍ぐらいにふくれるので、大きめの器にたっぷり水を入れておきます。

大豆のつけ時間 夏...8時間位 冬...16時間位

たっぷりの水とよくつけた大豆を、大きめの鍋に入れて最初は強火で沸騰させ、小さな泡が出てくるようになったら、煮汁を捨てる。(アクを抜くために)
次に、水を大豆より少し多めに入れて、とろ火でよく煮る。(約5~6時間)
煮上がりは親指と人さし指でゆっくりはさんでつぶれる程度まで煮る。

煮汁(アメ)は約1リットル位とっておく。

柔らかく煮た大豆を『キッチンミンサー』でつぶす。

こうじをほぐし塩を入れよくまぜて塩こうじを作る。

~をよく混ぜ合わせ大豆の煮汁(アメ)を加え、練るような調子でよくまぜあわせ、適当な固さにする。煮汁はみその発酵、熟成を円滑にするため加えるものです。

出来たてのみそを少量ずつとって容器にすきまなくつめ、よくおさえて表面を平らにし塩をふります。上部に空気が入らないよう和紙などで密着してふたをします。

和紙のかわりに サランラップを使ってもよい。

半年~1年間保存しておくとおいしいみそが出来上がります。

材料	標準みそ	大豆	1.5 kg	甘みそ	大豆	1.5 kg
		米こうじ	2.5 kg		米こうじ	5.0 kg
		塩	1.0 kg		塩	1.0 kg
		出来上がり約	7 kg		出来上がり約	11 kg

保存場所は冷暗所なるべく、夏、冬の温度差の少ないところがよい。

出来上がったみそは月日が過ぎると色が濃くなります。

みそ別・材料の割合(1.4kg=1升)

みその種類	生大豆 (kg)	こうじ (kg)	塩 (kg)	塩分 (%)	全量 (kg)	熟成期間	備考
豆みそ (八丁みそ)	6		1.85	13	14	1年以上	大豆そのものをこうじにして塩と混ぜて仕込む
麦みそ	6	麦こうじ ₉	2.8	12	24	6~12カ月	麦こうじを用いるので独特の風味がある
仙台みそ	6	5.3	3.5	15	24	1年以上	赤みそ、辛口
信州みそ	6	6	2.8	12	23	6~12カ月	淡色系みそ、甘口
江戸みそ	6	9	2.8	12	24	6~12カ月	
白みそ (西京みそ)	4	12	1.2	5	24	1~4週間	温醸設備が必要

キッチンミンサー保証書

No. _____

形名	キッチンミンサー [BK-200]		
保証期間	1年間	お買上げ日	年 月 日
ご愛用者	ご住所 ご芳名	TEL	様
販売店	住所 店名	TEL	印

本保証書は、本書記載の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

- 取扱説明書等の注意書による正常なご使用状態で、お買上げの日から上記の期間中に故障した場合には、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。
無料修理をさせていただきます。
- 本書の 印欄に記入のない場合は、直ちにお買上げの販売店にお申出ください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

無料修理規定

- 保証期間内に故障して、無料修理をご依頼の場合は、お買上げの販売店に商品と本書をご持参ご提示ください。
- ご転居の場合は事前にお買上げ販売店にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には、有料修理になります。
 - (イ) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買上げ後の落下などによる故障および損傷
 - (ハ) 火災・地震・風水害・落雷その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外(例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載)に使用された場合の故障および損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にご愛用者名、お買上げ日、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き替えられた場合。
- 消耗部品については、有料となります。
この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

Bonny 株式会社 ボニー

本社 大阪市浪速区久保吉1-5-25 TEL 06-6562-2360

アフターサービス

保証書

保証書は必ず「販売店名・お買上げ日」等の記入をお確かめになり、大切に保存してください。

修理を依頼される時

保証期間中、製品に保証書を添えて、お求めになられた販売店にご持参ください。

保証期間が過ぎている時、お求めの販売店にまずご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理致します。

アフターサービス等についてのお問い合わせ

お求めの販売店または、株式会社ボニーにお問い合わせください。